

環境生活課 TEL72-1111 内線327

本市の「アスベスト」対策は？

アスベストは天然の鉱物繊維で、熱や摩擦、酸などに強い性質を持ち、丈夫で変化しにくい上、安価なため建築材料などに広く利用されています。

しかし、コンクリートや鉄骨などに吹き付けられ露出していたり建物を解体する場合、飛び散って大量に吸い込むと肺ガンや悪性中皮腫を引き起こす原因になるということで、大きな社会問題になっています。(注 アスベスト自体が建物に使用されていることが、すぐに問題となる訳ではありません)

そこで本市では、8月26日以来関係課によるアスベスト連絡会議を開催してきました。会議では市の関係施設の実態調査を実施することや相談窓口を開設することなどを決め、市民の皆様にあすベスト問題について適切な情報提供等を行うことを確認しました。

これまでの調査では、特に今、懸念されている吹き付けアスベストが市民の皆様へ直接影響を及ぼすような公共施設は確認されておりません。

【アスベストに関する相談窓口】

(総合窓口)

- ・市環境生活課 TEL72-1111 内線327
- ・県庁環境管理課 TEL099-286-2627 (健康に関すること)
- ・市健康センター TEL72-7176
- ・加世田保健所 TEL53-2315 (建物に関すること)
- ・市建設課 TEL72-1111 内線326)
- ・加世田土木事務所 TEL53-7214 (労働災害に関すること)
- ・加世田労働基準監督署 TEL53-5511 (アスベスト廃棄物の適正処理に関すること)
- ・県庁環境整備課 TEL099-286-2596



アスベストを使った建築物 (資料写真)

水道課 TEL72-1111 内線324

貯水槽の適正な管理を

貯水槽水道には、簡易専用水道と小規模簡易専用水道があります。

簡易専用水道とは、水道水のみを水源とし受水槽の有効容量が10立方メートルを超えるものです。

小規模簡易専用水道とは、水道水のみを水源とし受水槽の有効容量が10立方メートル以下のものです。

貯水槽(受水槽・高架水槽)による汚染事故、衛生上の問題を発生させないために貯水槽の適正な管理をしましょう。

【簡易専用水道】

- ①簡易専用水道の設置者(所有者)は、水道法に定める基準に従いその水道を管理しましょう。
- ②毎年1回、地方公共団体の機関若しくは厚生労働大臣の登録を受けた者により施設の管理検査を受けましょう。
- ③毎年1回、地方公共団体の機関若しくは厚生労働大臣の登録を受けた者により水槽の清掃をしましょう。

【小規模簡易専用水道】

- ①小規模簡易専用水道の設置者(所有者)は、枕崎市給水条例に定める基準に従いその水道を管理しましょう。
- ②毎年1回、地方公共団体の機関若しくは厚生労働大臣の登録を受けた者により施設の管理検査を受けるよう努めましょう。
- ③毎年1回、給水栓における水の色、濁り、臭い、味に関する検査、残留塩素の有無に関する検査を受けましょう。
- ④毎年1回、地方公共団体の機関若しくは厚生労働大臣の登録を受けた者により水槽の清掃をしましょう。

■登録管理検査・水質検査機関

(社)鹿児島県薬剤師会 TEL099-253-8935

■登録貯水槽清掃業者(県内の業者)

(社)全国建築物飲料水管理協会鹿児島県支部
TEL099-250-0388
(枕崎市内の業者) 今給黎建設 TEL72-6111

貯水槽等による衛生問題を解消するため、受水槽式給水施設から直結方式への切り替えもできます。(ただし、病院等の保安水を確保しなければならない建物等の使用状況により制限を受ける建物及び配水管の水圧不足等の地区は除きます)

◎相談は水道課または枕崎市水道指定工事店にお願いします。



写真上:恒例のふるまい酒コーナー
写真中:地元人気バンド演奏で盛り上がる
写真下:新コーナーさつままいクイズ



新酒の甘い香りに誘われて

今年も大盛況 新酒まつり

新酒まつりが10月23日、薩摩酒造明治蔵で開催されました。今年も全国的な焼酎ブームが続く中、多くの焼酎ファンや家族連れが訪れ、一日中客足が途切れることはありませんでした。「コガネセシガン」と「紫芋」を使った、できたての手造り焼酎が味わえる「ふるまい酒コーナー」では、多くの人たちが足を止めて2種類の味を飲み比べ、舌鼓を打っていました。また、手作り料理

のコーナーにも終日長蛇の列ができ、ほぼ完売だったということです。

特設ステージでは、昼間は子どもたちによる踊りやビンゴゲーム大会、夜はARTSやRENSなど地元バンドの演奏などで大いに盛り上がり、子どもから大人まで楽しめる催しとなりました。今年の新酒も、良質なさつまいもに恵まれ、おいしく仕上がっているということです。



NEWS



薩摩酒造の新焼酎 その名も...



薩摩酒造が10月25日、「枕崎」という名の焼酎を発売しました。これは、南薩で作られた「コガネセシガン」を原料に、明治蔵で昔ながらの製法「かめ壺仕込み」により造られた芋焼酎。豊かですりやわらかな味わいが特徴です。このネーミングについて、同社によると、「さつま芋の伝来の地焼酎杜氏発祥の地である南薩摩の中心にある枕崎は、いわば芋焼酎の故郷ともいえます。その花渡川蒸溜所で、100年以上使われてきたかめ壺で丹念に造られた焼酎です。単なる地名ではなく、私たちのアイデンティティが詰まっています」とのこと。

私たちの住む「枕崎」の名が付いた焼酎。また「つ」新たな誇りが生まれたのではないのでしょうか。